

第一部
12時30分開場
13時00分開演

能
雁大名
【がんたいみょう】

野村萬齋(和泉流)

能
養老
【ようろうすいはのてん】

観世鏡之丞(観世流鏡仙会)

能「養老 水波之伝」
観世鏡之丞
(撮影:前島写真店)



第124回

川崎市定期能

2021年12月19日(日) 会場:川崎能楽堂

入場料(全席指定):各部 正面席 4,500円、脇正面・中正面席 4,000円

U25 3,000円

※脇正面・中正面エリアのみ選択可。25歳以下の方。
※来場時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。

第二部
15時30分開場
16時00分開演

能
舟ふな
【ふねふな】

高野和憲(和泉流)

能
浮舟
【うきふねなししき】

鵜澤久(観世流鏡仙会)



能「浮舟 彩色」山本順之
(撮影:吉越 研)

■チケット発売 2021年11月12日(金)10:00より発売(先着順)

*全ての販売方法において座席選択が可能です。*取扱い座席は全て共通です。

■販売方法

- 電話申込
- インターネット申込
- 窓口申込

- ①川崎能楽堂 TEL.044-222-7995(10:00~17:00 ※チケット受付時間が10:00~になりました。水曜定休日)
- ②カンフェティ TEL.0120-240-540(平日10:00~18:00)
- *①・②共にセブンイレブンでの支払・引取になります。
- *①・②共にサービス利用料(¥110/枚)、発券手数料(¥220/枚)が掛かります。
- カンフェティ http://confetti-web.com/kbz_noh124
- *事前会員登録が必要です(登録無料)。*クレジット決済・セブンイレブン支払が選択でき、引取はセブンイレブンになります。*サービス利用料(¥110/枚)、発券手数料(¥220/枚)が掛かります。
- 川崎能楽堂 川崎市川崎区日進町1-37(10:00~17:00 ※チケット受付時間が10:00~になりました。水曜定休日)
- *残数があれば 11月13日(土)10:00より販売いたします。*支払いは現金のみになります。



カンフェティ 川崎市文化財団

主催 公益財団法人 川崎市文化財団 〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 TEL.044-272-7366 FAX.044-544-9647

後援 「音楽のまち・かわさき」推進協議会

*開演後にご入場いただけない場合がございます。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、日時・内容・出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。
*新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いいたします(詳細は川崎市文化財団ホームページをご確認ください)。



定期能をより楽しむための 事前講座

- ◆日時:2021年12月11日(土)14:00~16:00 ◆会場:川崎能楽堂
- ◆講師:表 きよし(国土館大学教授)、鵜澤 久(観世流鏡仙会・シテ方)
- ◆定員:148名(先着順) ◆料金:無料

*第124回川崎市定期能チケットご購入者が対象となります。
*受講をご希望の方は川崎能楽堂へお電話、または川崎市文化財団ホームページよりお申込ください。

狂言 雁大名

シテ大名 野村 萬齋

アド 太郎冠者 石田 淡朗
小アド 雁屋 岡 聡史

能 養老

後ツレ 天女 鶴澤 光
前ツレ 翁の息子 観世 淳夫
後シテ 山神 観世鏡之丞
水波之伝

ワキ 勅使 館田 善博 大鼓 亀井 広忠 大川 典良
小鼓 大山 容子 笛 八反田 智子
後見 清見 寛二 地謡 安藤 貴康 西村 高夫
長山 桂三 柴田 稔

狂言 雁大名【がんだいみょう】

遙か遠国の大名(シテ)が、訴訟の叶った喜びに、在京中世話になった人々を招待しようと、肴を求めに太郎冠者(アド)を肴屋町へ使いにやります。太郎冠者は見事な初雁を見つけ、五百疋を三百疋に負けさせはしましたが、肝心の代金を忘れて来たのに気づき、買う約束だけして金を取りに引き返しますが…。

能 養老【ようろうすいはいのでん】

水波之伝

美濃国の本巢に霊水が湧き出たという報告があったので、雄略天皇はそれを確かめるために勅使(ワキ)を遣わします。勅使が養老の滝のほとりに着くと、老翁(前シテ)と若者(後ツレ)に出逢い、この二人こそ話に聞く養老の親子であろうと、養老のいわれを尋ねます。すると二人は、親孝行の徳が報いられて、この滝の霊水を受けられたこと、これを飲むと心も勇み老いの養いとなったので養老と名付けられたことを述べます。そして勅使をその滝壺に案内し、霊泉をほめ、その徳をたたえます。話を聞き終えた勅使が、その奇特な心を打たれ感激し、天皇への報告のため急いで帰国しようとする、不思議なことに天から光が差し、花が降り、美しい音楽が聞こえてきます。(中入)そこへ天女(後ツレ)が現れ、天女之舞を舞います。
やがて山神(後シテ)が現れ、清らかな水を讃え、舞を舞い、平和な御代を祝福して、天上へとかえってゆきます。

狂言 舟ふな

シテ主 高野 和憲

アド 太郎冠者 月崎 晴夫

能 浮舟

前シテ 里女 鶴澤 久
後シテ 浮舟 久
彩色

ワキ 旅僧 館田 善博 大鼓 亀井 広忠
小鼓 大山 容子 笛 八反田 智子
アイ 里人 高野 和憲
後見 馬野 正基 観世 淳夫 長山 桂三
清水 寛二 地謡 安藤 貴康 浅見 慈一
谷本 健吾 北浪 貴裕

狂言 舟ふな【ふねふな】

西宮に遊びに行くことになった主人(シテ)と太郎冠者(アド)は、神崎の渡しにさしかかります。太郎冠者が舟を「ふなやーい」と呼ぶので、主人は「ふな」ではなく「ふねだ」とたしなめます。太郎冠者は「ふな」という証拠があると言いつつ古歌を引きます。主人も対抗して古歌を持ち出し「ふねだ」とやり返します。すると太郎冠者が別の古歌を次々と引き、主人は同じ歌を繰り返すだけでどんどん分が悪くなり…。

能 浮舟【うきふねさいしき】

彩色

初瀬から都へ向かう旅僧(ワキ)が、宇治川で小舟に乗った女(前シテ)に出会います。女は、薫中將、兵部卿の宮という二人の男性の愛に苦しんだ浮舟のことを物語ります。僧が住家を尋ねると、女は比叡の麓の小野の里に住む者で物の怪に憑かれているので法力で救ってほしいと言いつつ姿を消してしまいます。(中入)
女が消えた後、里人(アイ)が現れ浮舟について物語り、小舟の女は浮舟の亡霊であろうと言いつつ、小野へ行って供養するよう勧めます。小野の里を訪れた僧が吊っている、浮舟の亡霊(後シテ)が現れて、生前、うつつき状態で入水したさまを見せ、初瀬の観音の功力により横川の僧都に助けられて小野に連れてこられたことを語り、死後もなお受けていた苦悩が僧の回向によって救われたことを喜び姿を消しました。

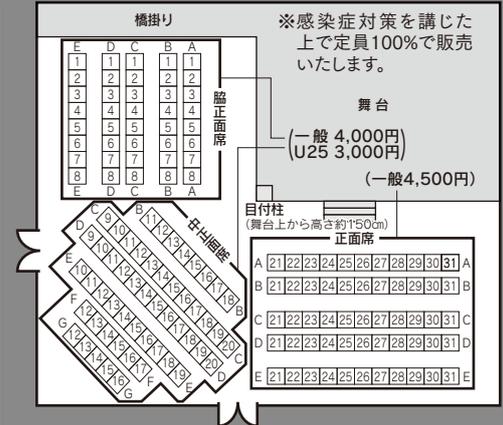
次回公演のお知らせ

野村万蔵による芸能サロン ～狂言を楽しもう～

開催日:2022年1月22日(土)14時開演
会場:川崎能楽堂
解説 野村万蔵
狂言「呂連」野村万蔵
狂言「隠狸」野村万蔵
チケット発売:12月20日(月)より発売予定(先着順)
※発売日が変更になりました。

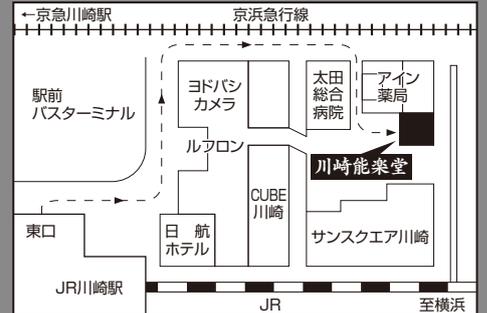
第125回川崎市定期能～観世流～

開催日:2022年3月12日(土)
会場:川崎能楽堂
【第一部】狂言「鬼」瓦 野村万蔵
能「井筒物語」観世芳伸
【第二部】狂言「文」野村万蔵
能「融」観世恭秀
チケット発売:2月7日(月)より発売予定(先着順)
※都合により日時、内容、出演者等変更になる場合もございますので予めご了承ください。



※U25券は臨正面席・中正面席のみ選択可。
※C列、E列は前の列より一段高くなっています。

川崎能楽堂座席表(148席)



JR川崎駅東口より徒歩5分
■アクセス(JR川崎駅まで)品川駅より約9分 横浜駅より約8分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
川崎能楽堂(9:00~17:00※水曜定休日)
〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995



川崎能楽堂案内図